

2026 年 1 月 27 日

[配信枚数 2 枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

報道関係者 各位

教育学部退職記念講演会を開催

2026 年 3 月に退職を迎える教育学部・岸本実教授、馬場義弘教授、中村史朗教授、若林千春教授の 4 名の退職記念講演会を下記のとおり開催しますので、ぜひご取材ください。

【令和 7 年度 退職記念講演会】

日時：2026 年 2 月 11 日（水・祝） 13 時 00 分～15 時 50 分（受付 12 時 30 分～）

場所：滋賀大学大津キャンパス 大・中講義棟 大講義室（大津市平津 2 丁目 5 番 1 号）

[退職教員・演題]

岸本実 教授（専門：教育方法学）

演題：「責任ある主体性を育む小学校社会科教育」

経歴：1996 年に滋賀大学に着任。主に社会科教育学・教育方法学の教育研究に従事し、「責任ある主体性」を育む社会科教育を中心に、教育目標・評価論、探究をモデルとした教育方法論、風土の視点からの環境教育論などを理論研究と実践研究の両面から深化させてきた。社会貢献として教育委員会関連委員や滋賀県教育振興基本計画審議会会長などを務めた。

馬場義弘 教授（専門：政治学）

演題：「私の研究」

経歴：1996 年に滋賀大学に着任。主に政治学・歴史学の教育研究に従事し、滋賀県の地域史、県政史などを中心に、史料の分析をふまえた研究・執筆を重ねてきた。社会貢献として自治体史の調査調査や執筆、高校生向け模擬授業など地域への学術的貢献にも取り組んでいる。

中村史朗 教授（専門：書道）

演題：「書と歩む」

経歴：2004年に滋賀大学に着任。主に中国書道史および日中書法交流史の研究を継続し、近代日中書法交流に関する研究で博士（文化交渉学）を取得するなど、学術的成果を積み重ねてきた。制作面でも日展・読売書法展等で入選・受賞を重ね、審査員も務めている。近年は文化庁の文化審議会委員として書道の国内無形遺産登録に関わるなど、専門領域を通じた社会的貢献にも取り組んでいる。

若林千春 教授（専門：作曲）

演題：「UTU 概念による音楽創造」

経歴：2001年に滋賀大学に着任。音楽作品創造を主たる研究分野とし、日本語の表現が方向づける音的・構造的・形而上的特色を、音楽的に抽出・探求する作品創造を活動の核とした。その過程において、国内外での初演・上演・招聘を重ね、各種コンクールでの受賞や委嘱作品の制作など、多面的な成果を挙げてきた。あわせて、音楽家集団の活動や演奏会企画を通じた社会への芸術的貢献にも尽力している。

●本件に関するお問い合わせ

滋賀大学教育学部総務係

TEL：077-537-7704 E-mail：syomu@edu.shiga-u.ac.jp